

キタ！からきた

だより

第175号



※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

<大阪北支部・会員リレー紹介 058>

レポーター（柴田靖之）



今回ご登場いただくのはフリーアナウンサーの岩佐まりさんです。

ご存知の方も多いと思いますが、岩佐さんは若年性アルツハイマー型認知症のお母様の介護ともうすぐ2歳になるお子様の育児を行うダブルケアラーとして、ご自身の生活や活動をブログ等で発信され、多くの方々の共感を呼んでいます。現在は、主に講演会や認知症の親を介護している娘・息子の会「桂 Kei」の運営を通じ、介護や育児の悩みを持つ方々の支援活動をされています。

岩佐さんが社会福祉士を目指したきっかけは、お母様を担当されていたケアマネジャーさんとの出会いだったそうです。社会福祉士資格を持っていたその方の専門職としてのスキル、コミュニケーション能力の素晴らしさに感銘を受け「私も同じように誰かの相談相手になりたい！」と意を決し、3年前に資格を取得されたとのこと。

現在、社会福祉士として様々な相談に応じる中で「相手の立場になり、その方の考え方の背景を理解すること」「自分自身がオープンな気持ちで接すること」を大切に、専門職、ダブルケアを行う当事者、両方の気持ちで相談者に向き合えるよう心がけておられるそうです。

そして「これからも色々な経験を積み、ダブルケアの大変さを伝えていきたいです。」と今後の思いも語って下さいました。

ご自身がダブルケアラーとしてもご多忙な中、同じ悩みを抱える方々のため、日々様々な活動を実践しておられるお姿、本当に敬服いたしました。



大阪北支部 研修報告 『気づきの事例検討会』（2025/01/11）

大阪北支部では、渡部律子先生の著書「気づきの事例検討会」を用いた事例検討会を実施しています。ソーシャルワーカーにとって必要なスキルアップのための研修です。事例を通して、ワーカーの支援について振り返る、単に振り返るのではなく、再度事例検討会を通して多面的に再アセスメントをしています。

提出して下さった貴重な事例を通して、クライアント像が明らかになっていきます。今回の事例提出者は、自分がなぜそのような支援をしたのか、振り返ることができました。参加者も事例を通して、クライアントのことを統合的にアセスメント出来ました。この事例検討会は単に事例を振り返るのではなく、ソーシャルワーカーが力をつけることができるピアグループスーパービジョンの実践です。今回も事例提出者や、参加者には、ソーシャルワーカーの力がつく事例検討会になったと感じています。

今年度最後となる「気づきの事例検討会」が3月15日（土）にあります。別紙チラシをチェック



★★大阪北支部公式 LINE アカウントのお知らせ（※他支部の方の登録も大歓迎です！！）
情報が早い！情報が手元に届く支部公式 LINE。目標としていた200名の登録を突破しました！
LINE「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するか QRコードをスキャンしてください。

